

会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町ランドデザイン像作成に伴う会議（第 6 回/全 16 回）

場 所：軽井沢町役場第 5 会議室

日 時：平成 26 年 6 月 23 日（月）13 時 30 分～17 時

出席者：軽井沢町（町長、横島、依田、森、遠藤、春原）副町長他 6 名
中村、udc（護、小野寺）、小野寺事務所（上條）、アトリエ T-plus（南）

①イマイ氏へのご説明内容（案）について、確認を行った。結果下記。

◆イマイ氏との契約について

- ・ 著作権については、買い上げ方式とし、必ず契約書をかかわす。【決定】
 - ・ 著作権、作業等の契約内容は、7 月 3 日のイマイ氏と協議後に整理する。
 - ・ 図版の加工が可能かどうかについても、協議をお願いしたい。
（図内に文字を入れる事が可能か、拡大使用が可能かどうか等）
- 次回（7 月 7 日）にイマイ氏との協議内容を報告する。

②エリアデザインについて小野寺氏より説明があり、議論を行った。結果下記。

◆全体について

- ・ 「ランドデザイン像」をイメージするインパクトがあり、分かり易い事業の提案が必要である。（町長）
 - ・ 軽井沢町では「軽井沢スマートコミュニティ」に取り組んでおり、環境関係では先取りして検討を行っていると感じている。いち早く町中に取り入れる事は、今までの取組みの延長線上でもありビジョンとして分かり易く、謳いやすいと考えている。（町長）
- これまでの議論で、特別なテーマとして出てきていない。テーマとして提示するのではなく、総論内の文言で表現する方向ではどうか。
- エネルギー問題に関しては、「地産地消」の中の一つと理解した。
- 中軽井沢地区はコンパクトシティを実現できる場となる可能性がある。中軽井沢を中心としたエネルギー政策から他地区、他都市に展開する方向ではどうか。
- ・ エネルギー政策については急速に強化している。100 年後を考えると町全体の施策としてランドデザインに入れ込みたい。（町長）
- エネルギー施策、自然エネルギーの中でも選択する必要がある。特化するか、コンバインするか等の細かい検討が必要となる。また、時代の変化のみでインパクトとしても薄いと感じる。
- 現在の省エネ施策は苦痛を伴うものが多い。喜びを感じる事、楽しい事を提案する事が重要と考える。ここで提案するランドデザイン像には、新しい喜びを提案する方向としたい。その文脈のなかで出てくる分には問題ない。
- ・ 50 年先を検討する事自体が他都市にはない試みであり、情報力が強い。スマートコミュニティの新しい技術に対して業界が目をもく可能性がある。軽井沢がいち早く設置するイン

センチブはあると考えている。

→総論では記載できるが、各論では難しい。現在、中村先生の思想を「グランドデザイン像」概要版として翻訳している。どの部分に入れ込むのかについては、後程、町長の意見を伺う事として対応したい。

→絵として表現する事は難しい。具体的な提案をどこまで表現するかについては今後検討を図る方向とする。22世紀フォーラム（答えを今から用意するのではなく、住民主導で検討する）の様に柔らかい仕掛けでの対応も考えられる。

・住民にとっても分かり易いものとしたい。（町長）

→【了承、今後検討】

◆サイクリング・LRT ネットワークについて

○LRT について

・LRT の敷設場所は、浅野委員からご意見を頂いている。①交通施策のPRとして国道を利用する案、②しなの鉄道の軌道敷を活用する案 の2案を頂いている。

→しなの鉄道の軌道敷を活用すると小諸からの便が悪くなる。（遮断機が降りたままとなる）利用目的も速度も違う。軌道敷は一緒にしない方が良い。

○サイクリングルートについて

・木もれ陽の里から南側へ行くルートがあれば良い。

・一周できる案が良い。離山の裏をまわって星野へ行くルートを追加できれば良い。

高低差はあるが、現在は電動アシストが主流となっており機能も高い。石見銀山では良い効果があらわれている。ルートの設定は可能である。

・国道+自転車道がセットでなくても、自転車道のみルートでも良い。様々な用途のルートがあっても良い。

→ルートの追加等、見直しをする。【再検討】

◆エリアデザインについて

【追分】

1. 街道の街並み+2. 分去れ+3. クリエーターズ・コロニー

・エリアデザインに盛り込むべき内容が不足している。新しい仕掛け、アイデアが必要。

→街路事業（歩車道の段差をなくす等）は完了しているが、通過交通が問題となっている。交通問題の解決を含めた良い提案が欲しい。

→歴史的な面影を残すためには、空き家になっている良い建物を移転し、歯抜けになっている街並みを揃える事も考えられる。同時に利活用も検討する必要あり。

→文学に特化するのではなく、空き家を利活用して「貸アトリエ」等として様々なクリエイターを誘致する事も考えられる。（何か月かでも住んでもらい、アイデアを頂く等）

→空き家利活用のためのシステム（まちづくり不動産等）を検討し、追分地区で空き家利活用を集中して行う事も良い。

→「芸術家コロニー」として「立原道造」のものがあれば特徴づけができる。追分公民館は、武基雄（東京大学）の設計で、その中には立原道造の詩碑がある。

・追分地区の事を知らずに通過している人達が多い。外部向けの PR の観点からも「追分」を見直す必要がある。安中市では、「碓氷峠」を見直している。歴史的な街道として、併せて PR できれば良い。

→「追分宿」の入口は分かり易くする必要がある。

→追分は「歴史の佇まい」＋「文学（堀辰雄等）」を軸とする。

・宿場町に合わない建物が多い。歴史の風情を出すために「格子」が並ぶ町並みが理想である。空地等は格子型の塀等を設置し、町並みを統一する等の仕掛けを検討して欲しい。

・コブシは落ちた実で道路が汚れる。また、歴史的に浅間山を望んでいた道路であるため、樹木を配置することは町並みにそぐわない。

→空地に格子型の塀を設置する等を行い、統一的な町並み描く事は可能である。ハード整備は良いが、ソフトの仕掛けが気になる。

・遣水を活用した造園的な整備「軽井沢造園」は可能か。油屋周辺等はどうか。絵を描く事は大丈夫か。

→油屋はまちづくりについて様々な意見を持っている。（油屋建物と前面土地の所有者は違う）場所によっては難しい事もあるが、アイデアを出してもらう事に問題はない。

→絵を提示してもらい、駄目な部分は削除していく方向とする。

→遣り水を活用したアイデアを検討する。次回以降に図像を提示する。

・追分一里塚を活用した整備が考えられないか。追分宿の門等があれば「入口」となる。

→実際の門があったかどうかの事実は再確認する。

【新軽井沢】

1. 芸術遊創プラザ周辺（矢ヶ崎公園）＋2. 駅東口から大賀ホール＋3. 国道133号（表通り）

・新軽井沢は、他地区とは違い都市を大々的に改造する手法をとっているが、価値があると判断し、絵を描いている。民地の交渉等は棚上げとしている事についてはご理解頂きたい。

【旧軽井沢】

1. 聖祝祭プラザ＋3. 旧軽銀座の街並み＋3. 別荘保存の決意表明図

○旧軽銀座の街並み

・軽井沢モダンを取り入れた銀座通りの街並みのイメージは次回くらいに提案して欲しい

→次回または次々回で提示する。

・軽井沢モダン（資料7）、軽井沢モダンといえるものだけ表示する。番号21～24の建物は海外様式であり、軽井沢モダンではない。番号16～18の建物あたりが軽井沢モダンと考えている。また、良い建物でも部分的に悪い箇所があったり、道路面にのぼり旗が乱立している場所がある。掲載時には部分的に修正する等の注意が必要である。

○別荘保存の決意表明図

・別荘の佇まい表現したイメージ図は必要である。

→保存型に関しては、現況と変わらないため「絵」になり難い。現況写真で対応する等については今後検討する。

【中軽井沢】

1. 街区と水路＋2. 湯川＋長倉公園＋3. 国道146号（表通り）

- ・全体図にLRTルートは追加して欲しい。【了承】

○くっかけテラス前再開発について

- ・くっかけテラスの全景を見せる、人間中心の駅前広場の改変について、インパクトを与えるためには良い。しかし、現在、県で検討されている県道拡張整備の案が潰れない様な配慮したデザインとする。

→拡幅を前提とした歩行者広場（遊歩道化）とする方向で再検討する。

○風土文化アカデミー（22世紀フォーラム）について

- ・システムの提案については、文章中に入れ込む。システム図を絵で表現できれば良い。

→図像的（概念図）な形で表現する事は可能、絵で表現可能かどうかについては次回以降に検討したい。

→住民主体・行政サポートの22世紀の公民館をイメージしている。（まちづくり会社に近いイメージ・民間の都市デザイン室にも近い）くっかけテラスを「22世紀フォーラム」として取り込む形でも良い。

→インパクトとなる思想なので、しっかりと提案したい。

【南軽井沢/南地区】

1. ユウスゲオーラム（風の庭）＋2. 発地市庭、植物園（山の庭）3. 里山博覧エコミュージアム

- ・スポーツと農業を取り入れた提案は、将来展望が高く、ダイナミックなパワーがある。軽井沢町として大々的に情報発信する事は良いと思っている。

○ユウスゲオーラム（風の庭）

- ・ゆうすげ湿地帯との一体性を保つためには、やはりアイスパーク横の駐車場は無くした方が良い。

- ・野球場を新設する提案も出てきている。場所については検討中である。

→全体像に反映する。

○次回の協議について

- ・次回会議は、平成26年7月3日（木）東京にて進士委員、浅野委員との協議を行う。軽井沢では平成26年7月7日（月）とする。

- ・議題は

1) 100年未来デザイン

①イマイ氏（7月3日）との協議報告

②イメージ図の検討

2) エリアデザインの仕様

①各地区仕様（全体図に描きこむ事物・施設、例示場所（再確認含む）、）

②例示場所イメージ図

2) グランドデザイン像冊子

①仕様（用紙、体裁、製本方法）

3) 工程表（作業項目と日程）

4) 会議開催予定日程

○配布資料

1. 次第

2. 前回議事要旨（資料1）

3. イマイ氏へのご説明内容（案）（資料2）

4. エリアデザイン（案）の構成について（資料3）

5. エリアデザイン素案（旧軽井沢・新軽井沢、中軽井沢、南地区）（資料4）

6. 軽井沢LRT+サイクリングネットワーク図（資料5）

7. エリアデザイン模型写真（資料6）

8. 軽井沢モダンについて（資料7）

9. 平成26年度軽井沢町ランドデザイン像作成工程表（資料8）

※ 地区模型

以上